

あそびの森すみよし保育園

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

1 概 要

平成 23 年度に引き続き、未満児を中心に保育需要増加し続けている。待機児童対策として可能な限り受け入れを行ってきたが、施設の許容量が限界に近づいている。短期入所も出てきている。希望がかなわなかったとの保護者の訴えも増えてきた。増加した長所を利用した保育の組み立てなど、大人数だからこそできる運営に心掛けてきた。

一方で、人数が多くなることでニーズの多様化が進んでおり、保護者の要望も変容してきている。特に駐車場などの目に見えるものの要望については、対応限界もあり、基準作りを進めてきている。細かな努力で、おおむね一定の理解を得ていると考えている。

新卒者、既卒者ともに、研修が必要と考える。児童福祉である以上、奉仕の気持ちを持ち、こどもがいかにか幸せを感じるかを多面的に検証できる人材を育成する仕組み作りを引き続き検討していきたい。

2 園児及び職員の状況

(園児の状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	8	10	10	11	11	11	11
1歳児	21	21	23	23	23	24	23	23	23	22	22	22
2歳児	29	29	29	30	30	30	32	31	31	30	30	30
3歳児	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
4歳児	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	35	35
5歳児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
計	154	154	156	157	156	159	162	161	162	160	160	160

(職員の状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

職名	園長	主任	主任代理保育士	保育士	調理員	保育補助	看護師	事務員	計
常勤	1	1	1	25	3	2	1	1	35
非常勤				1		8	1		10
合計	1	1	1	26	3	10	2	1	45

※ 常勤については、一日 6 時間かつ週 5 日以上勤務の職員

※ 嘱託医・嘱託歯科医は、それぞれ兼任契約をしている

3 保育の実践内容

保育目標に沿って、目指すこどもの姿を具体的に実現するために以下のとおり保育の実践に努めました。

- ① 明るく健康で、生活力のあるこども
- ② やさしく、思いやりがあるこども
- ③ 自然を愛し、豊かな感性をもったこども
- ④ 思ったこと、感じたことを伝え合い意欲をもったのびのび活動できるこども

休日保育の実施調査について

休日保育の実施についてあそびの森すみよし保育園での実施の可否について検討するため、県外の休日保育実施の現状を視察した。

9 月 15 日 川崎市 すみれ保育園

9 月 17 日 仙台市 泉チエリー保育園

2 園での実施状況をヒアリングし、また資料を基にまとめた報告書を作成し、新発田市に提出した。報告から、あそびの森すみよし保育園が休日保育を実施することは時期尚早と判断し、次年度以降にさらに検討を重ねていくこととなった。

4 施設整備

① 環境整備

卒園児や近隣との交流のための環境整備

卒園児や近隣の方たちの交流のための環境を整備した。控室となる部屋で利用できる空気清浄機。持ち運び可能な CD プレーヤー付アンプなどを整備した。伴って、内容の充実を図ることができ、特に通所型老人ホームでの活動は半年間継続的に行うことができ、通所する方たちからも好評を得た。

② 防災対策

備蓄食料の確保

以前より懸念されていた備蓄食料について、一定の量を確保した。離乳食及び水についても用意してある。一方で、十分な量を確保できていない。離乳食 30 食・ 160 人分の 3 食分の食料にとどまっており、来年度以降継続的に備蓄する必要がある。

③ 保育環境充実

園庭菜園・花壇整備

NPO 法人ユ一&ミーの会の協力のもと、ゴーヤを育てた。時期及び気候の関係で、成長が十分でなく、収穫量も平均的になった。

菜園関係は、全体的に植え付けの時期が遅くなってしまい、収穫量など十分な結果は得られなかった。

5 職員研修の充実

1. 内部研修

実施月日	研修内容
3月21日	学園内新卒者研修
6月1日	保育園・幼稚園・保育教諭について
5月24日	乳幼児突然死について
5月31日	仕事の目標と保育士の役割
6月21日	保育の実例から
10月11日	保護者対応について

12月27日	学園内研修
1月31日	衛生研修

2. 園外研修

実施月日	研修の名称	実施月日	研修の名称
4月21日	新発田市保育研究会	6月23日	下越地区保育研究会
4月25日	新潟県保育連盟園長研修会	6月27日	新発田市同和教育研究協議会
5月19日	新発田市初任者研修会	6月30日	学校保健活動セミナー
5月25日	新潟県保育事業研究大会	7月5日	歯科研修会
5月29日	民間保育園新任研修	7月7日	新発田市保育研究会研修部1
5月31日	パワーアップセミナー乳児保育	9月12日から14日	初任保育所長研修会
6月13日	主任保育士研修会	11月12日から13日	下越保育園連盟園長研修会
6月18日から20日	保育所乳児保育担当者会議	1月11日	主任保育士研修会
6月23日	新発田市私立保育園連絡協議会研修会	2月5日	調理師再教育講習会

6 主な行事

4月3日	入園式
6月1日	親子遠足
6月8日	新発田市消防祭
6月15日	給食試食会(デイキャンプ)
7月21日	なつまつり

7月31日・8月1日	園外プール保育
9月4日	こすもす会
10月6日	みんなのうんどうかい
10月25日	観劇
11月4日	姉妹園対抗サッカーおたのしみかい
12月3日	みんなのはっぴようかい
2月1日	つくってあそぼう・もちつき大会
2月26日	お別れ遠足
3月15日	お別れ会
3月21日	おおきくなってうれしいな会
3月23日	卒園式

毎月の定例行事

第2・4木曜日	園開放日
第3木曜日	お誕生日会
月1回	避難訓練・通報・消火訓練

7 地域との連携促進事業及び子育て支援事業

1. デイサービス事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間	0	1	4	2	2	1	1	0	0	3	0	6	20
8時間	24	33	41	41	31	51	53	45	50	31	44	49	493
震災避難者利用	4	3	5	5	1	5	4	5	4	0	0	2	41
小計	24	34	45	43	33	52	54	45	50	34	44	55	513
24年度	26	25	38	43	24	40	48	29	39	34	38	42	423
前年比	-2	9	7	0	9	12	6	16	11	0	6	13	90

東北大震災の被災者に対して、市の助成があったこともあり、年間で延べ41件の利用があった。利用実態としては、就労支援の一環での利用で1軒に限定されていた。その後、保育園の入園が決まった。

8 園開放事業の実績

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
こどもの人数	59	85	77	50	78	66	67	72	49	58	40	701
おとなの人数	52	70	60	40	62	53	50	55	39	44	31	556
合 計	111	155	137	90	140	119	117	127	88	102	71	1257
23 年度	127	126	105	81	128	151	122	165	69	76	58	1208
前年比	-16	29	32	9	12	-32	-5	-38	19	26	13	49

圧倒的にリピーターとしての固定利用者が多い。そのため、気候や園内の感染症の状況などの比較的狭い範囲での要因が参加に大きな影響を与えている。
また、日程的に12月2回目は、すでに学校等も冬休み期間中だったので、

9 延長保育事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用数	9.50	10.75	8.25	9.50	8.50	8.75	8.00	8.75	10.75	10.00	8.75	9.75	9.27
後30分利用者	4.25	4.75	5.75	7.50	5.25	5.25	6.75	6.75	7.50	7.25	7.50	5.75	6.19

※ 延長保育料の対象になる18時30分以降の保育人数を当該月の各週の最も多い利用児童数を持って平均し、小数点以下第1位を四捨五入した

延長保育の利用者は年々増加傾向にある。18時30分以前の利用者は10人を超える月もある。特に雪が降ると交通障害の関係から、保育時間が伸びる傾向が強くなる。

10 障害児保育事業

24年度は障害児保育に該当する児童はいませんでした。